

「下は0才! 幼い4人の子供たちとピアザに参加するわけ」

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」—第 63 号—

平昌オリンピックが開幕しましたね。

以前はテレビを見ている、日本選手の様子やその勝敗しか興味がありませんでしたが、セルラスの活動を始めてから、最近では各国の選手たちや、ボランティアの人たちの様子にも目がいくようになりました。

来週 25 日には東京マラソンがあり、今回初めての「チーム・ボランティア」公募でセルラスが選ばれ、私も多言語ボランティアとして参加してきます!

さて、本日の話題は、0才、3才、5才、6才と小さなお子さんを4人も抱え、活動に参加しているお母さんの手記です。

セルラスで活動を始めようと思ったきっかけや、子供たちの変化、ピアザの魅力について語っていただきました。

小さな子供たちと一緒に参加するからこそその醍醐味、ぜひご一読ください。

【目次】

《1》「どんな人も自然と受け入れるピアザの環境」

神奈川県藤沢市在住 赤星さん(4児の母)

《2》セルラス インフォメーション

《1》「どんな人も自然と受け入れるピアザの環境」

神奈川県藤沢市在住 赤星さん(4児の母)

【体験会で出会った子供たちに惹かれて】

講演会でお話を聞いて、違うアプローチから言語の習得をしているセルラスの活動に関心が湧きました。

最終的に活動を始めてみようかと踏み切ったきっかけは、

体験会で6年生2人の女の子に出会ったからです。

初対面の私に「子供かわいいですね」と話しかけてきました。

これにはとてもびっくりしました。大人の私に「一人の人として」普通に話しかけてくれたんです。

さらに彼女たちの多言語活動を自分の今できる精一杯でやっている姿、下の子たちの面倒も、

特に注意したり叱ったりせず、上手に仲間に入れてあげる姿、そんな彼女たちの姿に脱帽しました。

少し上のお兄さんお姉さんがかっこよく見える環境は自分の子供たちにとって、

とてもいいのではないかと思います。

また、その子供たちが、初めて会う人に対して壁を感じずに接することができ、その場で自分の役割を考えて行動できる姿を目の当たりにしたので、我が子もそうなってもらいたいという気持ちになりました。

同時に、自分自身もこの活動を通じて人に対してもっと積極的に関わって自分を成長させたいと思いました。

【どんな小さな子供でも積み重なったものが必ずある】

私はCDを聞き始めましたが、子供たちは初めは何が何だか分かっていないので、ピアザにただ参加させていただけでした。

ですが、6才の長男はピアザに通い始めて2ヵ月ほどでCDの音を捉えて声に出し始め、私を含め周囲を驚かせました。

5才の長女はピアザをお休みすることも度々でしたが、最近になって少しずつCDの音を声に出す瞬間が日常の中に出てきました。

3才の二男はというと、ピアザへ行く途中の車で寝てしまい、ピアザの間、ずっと寝ていることもしばしばです。

でも、最近のピアザでは、みんなが自己紹介を多言語でした時に、自分の番がきたら、英語でしていました。

下の子供たちは年齢が低すぎて、ピアザに連れて行っても意味がないように思っていました。しかし、それは間違いで、子供の中には蓄積されているものが必ずあると分かった瞬間でした。それに5才の長女は恥ずかしがりながらも多言語を口にした時の顔がまた愛らしく、「私も言えるのよ」という自慢気な表情です。

しかし、子供のことはすぐに成果を求めずに、とにかく毎回のピアザと私自身の日々のシャドウイングを続けていれば、おのずと変化がみられるだろうと思っています。

【ピアザはどんな人でも受け入れる場】

これこそが一番伝えたいところかもしれません。

ピアザはどんな人でも受け入れる環境をみんなで作っていると感じます。

人の話を理解しようとみんなが聞いてくれます。

間違いや失敗があっても当然。そのことを指摘したり、バカにしたりすることはありません。

こんな環境にいたら、子供も大人もトライしてみよう、伝えてみようという一歩が踏み出せます。

そして、勇気を出してやったことが、賞賛される。今はなかなかそんな場はないかも知れません。

ピアザは今できることを思い切って挑戦でき、みんなから温かい拍手や声掛けをしてもらえ、自分をほめてあげられる場です。

これって、今、子供に必要なだと言われている自己肯定感を高めることそのものだと思います。

【通わずにいられない場所】

そして、親にとっては、小さい子供でも自然と受け入れてくれる環境はとてありがたいです。

私がプレゼンやワンマンロールプレイをする時は、誰かしらが0才や3才の我が子を抱っこしてくれます。

自分が誰も抱っこしないで一人で動けるなんて、それだけでとても嬉しいものです。

ピアザは自分の子の成長をみんなが見守ってくれ、一緒に子育てをしているような

そんな感覚さえもってしまう場所です。

子どもも安心してピアザの仲間たちに心を開けますし、私自身もそこで、自分の子や他の子どもたちの

成長をみんなと喜びあひながら、異文化を垣間見ることができたり、世界の広さを知り、

これまでの視野が少しずつ広がるのですから、こんな素敵な場所に、

通わないわけにはいかないと思っています。

《2》 セルラス インフォメーション

◆春の講演会「世界に通じる力を育てる」のお知らせ

2020年の大学入試改革、グローバル化、AI(人工知能)の台頭。

私たちの環境はめまぐるしく変化しています。未来につながる人材育成のキーワードは「コミュニケーション力」「多様性への対応力」「自分で見つける力」です。

講演会では、様々な事例を基に、多言語活動を通して育っていく力についてわかりやすくお話しします。ぜひ、足をお運びください。また、お知り合いやお友達にもお知らせください。

◎関東

▼東京

【世田谷】2/27(火)午前

3/2(金)午前

3/5(月)午前

▼神奈川

【横浜】2/15(木)午前

◎関西

▼大阪

【淀屋橋】2/28(水)午前

【難波】3/1(木)午前

【西九条】3/8(木)午前

【弁天町】3/9(金)午前

▼兵庫

【宝塚】2/19(月)午前

2/20(火)午前

【明石】2/22(木)午前

2/23(金)午前

開催場所、時間などの詳細は HP をご覧ください。

⇒<http://www.celulas.or.jp/skejur3.html>

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。

このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。
最新号9号では、「セルラスの目指す世界」について、当法人の理事長が書いております。
また特集「教えて『あなたの取り組み』」では、メンバーたちの多言語活動に取り組む中での
発見がたくさん掲載されています。
ホームページでもご覧になれますので、ぜひご一読ください。
⇒ <http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した講演会、セミナーに
参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。
セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、
より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。
日頃の私たちの活動やご家族で参加していただけるイベントや講演会などの
お知らせを、月2回の予定でお届けします。